



舞の里だより

住所: 〒244-0813 横浜市戸塚区舞岡町1764 舞岡公園「小谷戸の里」 TEL/FAX 045(824)0107
公式ホームページ URL <http://maiooka-koyato.jp/> 休館日: 第一・三月曜日 (祝日の場合は翌日)

年頭にあたって

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

子、丑、寅年と3年目の春を迎える新型コロナウイルス感染症の一日も早い収束を心よりお祈り申し上げます。

令和3年度には、登録グループ31、幼稚園・保育園4、小学校4、高等学校1、養護学校高等部1、自立・就労支援学校1、大学1等多くのグループ・教育機関等の皆さまがコロナ禍ではありますが、感染拡大予防対策をしながら年間を通して米作り活動や様々な活動に汗を流していただくことができました。

また、生物多様性維持保全のボランティアとして、外来植物生物防除、ホテル調査、希少植物保護等の活動。舞・小谷戸屋での店舗品製作ボランティアの竹炭焼き、竹トンボ作り、わら・竹製品作りの活動。水車回し隊、古民家、休日谷戸番、「舞の里だより」発送折りっこ、薪割り、ネットの繕い、農具の点検修理、ワラ縄作り、生物記録等々おかげさまで多くのボランティアさんにも支えられ、公園の運営がなされています。

残念ながら、収穫祭は2年続けて中止とさせていただきましたが、昨年12月から炊出しは再開し、収穫の喜びを分かち合うことができるようになりました。心配されますオミクロン株の急激な感染拡大により状況が変わるかもしれませんが何とか実施したいものと考えます。

さて、今年度も「株式会社ブリヂストン様、ちょボラ募金様」より大きなご支援をいただきました。今年度から年間を通して社員の皆さまとその家族の皆さまがボランティア体験を実施されるなど、さらに新たな関係作りに踏み出すことが出来ました。中には田んぼ活動以外にも活動の幅を広げていらっしゃる方もいます。

令和4年4月1日から令和9年3月31日までの5年間、舞岡公園の指定管理者として横浜市長より指定について通知がありました。認定NPO法人の名に恥じぬよう、運営にあたってまいります。

今年も、自然体験・文化体験 with コロナの新しい様式で舞岡公園の活動も感染拡大防止を図りながら進めていきたいと思えます。舞岡公園に「つどい」、そこにある自然・文化体験を通して「まなび」、ともに学んだ者同士が「むすぶ」という人々が繋がる流れ「つどい—まなび—むすぶ」の中で、舞岡公園の自然環境の維持保全に努めて参りたいと考えます。本年も皆様方のご理解・ご協力をお願い申し上げます。



認定 NPO 法人 舞岡・やとひと未来

理事長 草間 敏保

原木シイタケの植菌体験(原木一本おみやげ付) 【中止】

小谷戸の里では林の間伐材を利用し、シイタケ栽培を実施しています。「普段口にしていないシイタケはどのように作られているのかな?」そんな疑問もスッキリ解消! 食育にも一役買うかも♪お子様とご一緒にいかがですか?

—日時: 2月13日(日) — ①13:00 集合~14:00 — ②14:00 集合~15:00

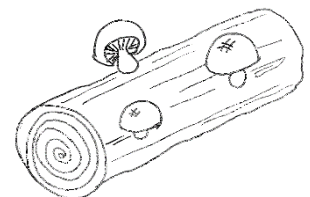
—定員: 各回先着20組 — ※小学生以下保護者同伴

—参加費: 一組500円 — ※雨天決行

—持ち物: 作業用手袋、原木持ち帰り用の袋またはヒモ等 —

※原木の大きさはおよそ直径10cm、長さ50cmです

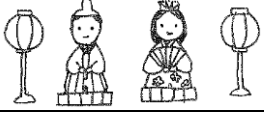


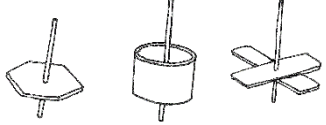

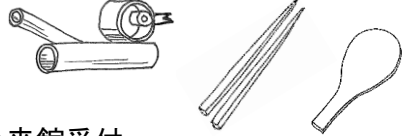
申込: 1月22日(土)9:00~電話または直接小谷戸の里へ



「田んぼ意見交換会(冬)」は中止です

2月5日(土)に予定しておりました「田んぼ意見交換会(冬)」は中止いたします。ご意見・ご要望がありましたら各田んぼ代表者を通じ、担当指導員までご連絡ください。どうぞよろしくお願ひいたします。

イベントのご案内

| イベント共通事項 | 【★印】事前申し込み制 【無印】当日直接小谷戸の里へ ※小学生以下は保護者同伴 【参加費】記載がないものは無料 【集合場所】特に記載がなければ小谷戸の里 ※状況により、中止する場合がありますのでご了承ください ※イベント共通: マスク持参・当日ご自宅で体温を測ってください | |
|--|---|--|
| イベント | 日時 | 定員・参加費・申込み・集合場所・その他 |
| 豆まき(節分) 【中止】 | 2/3(木)13時30分～ —13時45分 | 古民家の縁側から年男・年女が豆まきをします その様子を前庭からご覧ください |
| 雛人形の展示 | 2/4(金)13時から 飾りつけ ～3/8(火)13時 | 古民家に七段飾りのお雛さまを 飾ります  |
| ★バード ウォッチング  | 2/13(日) 【中止】 9時集合～11時 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">【共通事項】</p> <p>定員: 10人(抽選) 持ち物: 双眼鏡 ※雨天中止 参加費: 200円、小学生100円、未就学児無料 申込: 往復はがきに行事名・〒・住所・電話番号・全員の氏名・年齢(学年)・返信先住所・氏名を記入。一枚の往復はがきに3人まで</p> </div> |
| | 3/13(日) 9時集合～11時 | |
| 雑木林の集い | 2/11(金・祝) 【中止】 ①10時集合～12時 ②13時集合～15時 | ① 雑木林の現場歩き ② 活動についての話し合い 歩きやすい靴、服装で  |
| ★竹細工 ～こま作りと遊び～ | 2/27(日) 9時30分集合 ～12時 | 定員: 20人(先着) 参加費: 500円 持ち物: 作業用手袋 汚れてもよい服装で 申込: 2/5(土)9時～電話か来館受付  |
| ★自然観察会 ～谷戸の目覚め～ | 2/27(日) 13時集合～15時 | 定員: 10人(先着) 申込: 2/11(金祝)9時～電話か来館受付 ※雨天中止  |
| ★竹細工 ～竹の鳥笛・箸・ しゃもじ～ | 3/27(日) 9時30分集合 ～12時 | 定員: 20人(先着) 参加費: 500円 持ち物: 作業用手袋 汚れてもよい服装で 申込: 3/5(土)9時～電話か来館受付  |

生きもの語り 第91回 「生きものの棲む在り処」の巻

草虫暦 大寒 ～キジが鳴き始め、フキノトウが出始める頃～

寒さ厳しい冬を迎えました。冬の間、田んぼに水を張っている田んぼ(冬期湛水、冬みず田んぼ)では、泥の表面を見るとふつつつと小さな穴が空いています。イトミミズが一面に撒いた糞をエサにして冬の間も活発に活動しています。こうして、冬から春までの間、田植えまでにトロトロ層が作られていく大切な時期です。トロトロ層がながいあいだで厚い層になることによって、コナギなどの田の草の種は陽の光が届かず、生えにくくなります。また田んぼの中で稲の育つ栄養もたっぷりとなり、田んぼの中でのほどよい循環が出来上がります。年々とそれを続けていくことにより、田んぼの中がだんだんとそう「ととのって」いくのです。

田んぼをいわゆる休耕田にして様子を見てきた田んぼがあります。耕さず(不耕起)にいた田んぼでは、稲が一年目、苗を植えていないのに稲株が育ち、希少種といわれる草花がたくさん生えてきたり、畦にある

ハンノキの若木が育ったりしました。それは驚くべき光景でした。葦原に混ざって出てくるセイタカアワダチソウ（外来種）の姿もありました。冬には水を入れ、冬みずにしていたところ、ヤマアカガエルが卵を産みにきたり、ゲンゴロウの仲間も泳いでいました。生きものたちはちゃんとみていて、自ら暮らす場所、棲みやすい場所を選んでいるのだなと思います。

二年目には、植物層がまた変わり、これが増えた、あれが減ったと、その環境で様子はどんどん変化していきました。希少種の一部が減って、心配しましたが、少し確認もできました。

人間はいわゆる「希少種」があると守らなければ！と思いがちです。ですが、守るべきは希少種のそれだけでなく、その環境を保全することです。希少種である生きもの、植物となったものを「自然に」在る場所がもっともっと増えていくことが大切です。そのため人が何ができるかといえば、まずその環境をよく観察することから始まるのだと思います。希少種たちはそういった意味で、人がその環境をみる上でのシンボルであり、気づかせてくれるシグナルの役割をしてくれているように思います。

舞岡公園の田んぼは里山の景観を守るためにあり、それは多くの生きものたちの生息環境を守ることであります。市街地に残された緑地である舞岡公園でも、生きもの数が少なくなり、どんどん「希少種」が増えていきます。

それは自然環境の状況が、瀬戸際にあるということです。希少種と呼ばれるものがそういわれずに、少しでもあたりまえにある場所になっていくといいなと思います。不耕起冬期湛水田や休耕田といったいろいろな田が存在することで、その自然環境の多様性となっています。

社会生活の中で、人はいわんや人の目的のために活動しています。通常の稲作の体験、収量を得ることもこれにあたる要素です。自然環境を守るということはそこからの新しい視点でもあります。田んぼは実は人の手が多くかかっています。たくさんの人の手が自然環境により繋がっていくことが、人の生活の営みの中すべてにおいて求められている時代にすでに入っています。

いのちのみなもとである自然とともに在るために、舞岡公園だからできること、舞岡公園らしい田んぼを愉しみながら皆さんで創造してゆけたらと思っています。
(生物環境部会)

イベントのようす

★竹細工～三二門松作り～（12/11、12実施）

親子で協力して竹を切ったり、こもを巻いたり、松を飾り付けたりして素敵な門松が出来上がりました。手作り門松でよいお正月を迎えられたことと思います。

＜参加者の声＞ ・手間がかかっている、ていねいに作っていると知りました。
・自然の中での体験。何よりのイベントでした！



★わら細工～正月飾り作り～（12/11、12実施）



舞岡公園の田んぼで育った稲わらを家族で協力しながら編み上げ、丸いお飾りを作りました。

＜参加者の声＞ ・娘がうまくできずに大泣きしてしまいましたが、あたたかく受け入れてくれて親の私が救われました。やっぱり人のつながりはありがたい。

★鏡餅作り（12/25実施）

年末恒例イベント「鏡餅作り」。舞岡公園産の搗きたてほやほやのお餅を使い、まな板の上でくるくる回しながら形よく整えました。餅の柔らかさや温かさを感じながら子どもたちも楽しそうに取り組んでいました。

＜参加者の声＞ ・初めて鏡餅を作りました。恵みに感謝の気持ちが生まれました。



★こども書初め会（1/5実施）

新年最初のイベント「こども書初め会」を古民家で行いました。事前に応募して下さった12人の小学生の皆さんが、古民家で書初めをしました。作品は月替わりで古民家の床の間に飾ります。

＜参加者の声＞ ・初めてののだるま筆は書きにくかったけど、うまく書けてうれしかった。



★そのほかのご報告

- ・すす払い(12/3実施): 切り出した長い竹を使い、梁に積もった真っ黒なすすを払いました。
- ・大掃除(12/26実施): 参加者25人で一斉に取り組み作業棟・納屋・事務所・トイレ等がきれいになりました。
- ・障子張り(12/3～): 障子を外して、和紙の障子紙に張り替えました。谷戸学校生も実習で作業を行いました。
- ・門松・注連縄・鏡餅(～1/7): 注連縄を張り大門松を設置。古民家床の間には鏡餅をお供えしました。
- ・まゆ玉飾り(1/11～): 6色の団子をミズキの枝にさして、まゆ玉飾りを作りました。古民家に展示中です。

こんごの作業など

田…田んぼ 畑…畑 林…雑木林

下表内の作業は申込み不要ですので、当日直接お越しください。個人および家族の方対象です。
ボランティア未登録の方は、小谷戸の里事務所で住所・氏名・電話番号を記入の上ご参加ください。

| 1 月 | | 2 月 | |
|-------|---|--------|--|
| 16(日) | 10:00～畑:作業 13:00～林:楢木準備 | 2(水) | 10:00～薪割り【中止】 |
| 17(月) | 【小谷戸の里 休館日】 | 6(日) | 10:00～畑:作業 12:30～林:定例の話し合い 13:00～林:間伐・除伐 |
| 19(水) | 10:00～薪割り | 7(月) | 【小谷戸の里 休館日】 |
| 23(日) | 10:00～畑:作業 12:30～畑:定例の話し合い 13:00～林:楢木準備 15:30～指導員連絡会【中止】 | 9(水) | 10:00～林:間伐・除伐 |
| 26(水) | 10:00～林:楢木準備 | 10(木) | 10:00～畑:作業 |
| 27(木) | 10:00～畑:作業 | 11(金祝) | 10:00～林:雑木林の集い【中止】 |
| 30(日) | 10:00～畑:作業 13:00～林:楢木準備 | 13(日) | 10:00～畑:作業 12:30～田:定例の話し合い 13:00～林:原本シイタケ植菌イベント |
| | | 16(水) | 10:00～薪割り【中止】 |
| | | 20(日) | 10:00～畑:作業 13:00～林:間伐・除伐 |
| | | 21(月) | 【小谷戸の里 休館日】 |
| | | 23(水祝) | 10:00～林:間伐・除伐 |
| | | 24(木) | 10:00～畑:作業 |
| | | 27(日) | 10:00～畑:作業 12:30～畑:定例の話し合い 13:00～林:間伐・除伐 15:30～指導員連絡会 |

田んぼの作業

【 12 月実施 】

- | | |
|---------|-----------|
| 荒起し(6枚) | 堆肥ふるい(1枚) |
| 炊出し(5枚) | 落ち葉かき(2枚) |
| 水路・畦整備 | 脱穀機等整備 |

作業等について

今号に掲載の作業やイベントは、状況により中止や延期をする場合があります。舞岡公園公式ホームページ(URL <http://maioka-koyato.jp/>) または電話(TEL045-824-0107)でご参加の前日に実施の有無をご確認ください。

2/19 「舞の里だより」2月号の発行日です
(土) 折り作業にご協力ください



投句箱より

| | | | | | |
|----------------------------|--------------------|----------------------|-------------------------|----------------------|-----|
| このままが このまま残れ おおじじのおか | 紅梅の 苔の衣は 冬の粧 | 薄氷に 映る枯野や 谷戸の里 | 目の合ひて 栗鼠裸木を まつしぐら | 新しき 水流れをり 歩き初め | 佐藤満 |
| | 舞栄 | 竹舞 | 玲奈 | | |

水車の運転日

1月18日(火)、20日(木)、21日(金)、
25日(火)、27日(木)、31日(月)
2月2日(水)、3日(木)、4日(金)
8日(火)、9日(水)
各日10時～12時
水車の力で玄米を精米します♪

